

令和 7 年度 地域連携推進会議			社会福祉法人 函館緑風会 グループホームふるーる
会議録		開催場所	希望ヶ丘学園 食堂 各グループホーム事業所(見学)
令和 8 年 1 月 19 日		14時00分	~ 15時00分
議題			
1 施設長より挨拶 2 地域連携推進委員及び参加者の紹介 3 グループホームふるーるの事業内容と現状報告について 4 施設見学 5 質疑応答 6 7 8 9 10 その他（連絡・報告事項）			
出席者	施設長(管理者)	渡邊 康雄	利用者代表(委員) 木村 房子
	サービス管理責任者	佐藤 孝之	利用者代表(委員) 秋田 優介
			保護者代表(委員) 田崎 竹嗣
			地域住民代表(委員) 川島 博
1.施設長より挨拶 障害者支援施設や共同生活援助(グループホーム)などの福祉サービス事業所が、地域の関係者と連携しながら事業運営の透明性やサービスの質を高めることを目的とした会議となります。 主な目的は4つが柱となっています。 ①利用者と地域との関係づくり 利用者が地域の一員として安心して暮らせるよう、顔の見える関係を築く。 ②地域住民への理解促進 施設や利用者の生活を地域に知ってもらい、相互理解を深める。 ③サービスの透明性・質の確保 外部の目を入れることで、事業所の運営や支援の質を向上させる。 ④利用者の権利擁護 利用者の声がサービスに反映されているかを確認し意思決定支援などを含めて権利を守る。			
疑問に思うことやお聞きになりたいことなどがあれば遠慮なくご質問ください。			
2.地域連携推進委員及び参加者の紹介 ○木村 房子(希望ヶ丘学園利用者代表) ○秋田 優介(グループホームふるーる利用者代表) ○田崎 健嗣(保護者代表) ○川島 博(地域代表) ○渡邊 康雄(管理者) ○佐藤 孝之(サービス管理責任者)			
3.希望ヶ丘学園の事業内容と現状の報告について (1)事業所の紹介 組織図 別紙にて報告 (2)事業所の利用状況及び職員配置状況(令和7年4月1日現在) ○利用定員及び現員 グループホームふるーる13名 (・1号館男性4名 ・2号館女性4名 ・3号館男性5名) ○職員構成 ・施設長(事務長兼務) ・サービス管理責任者(希望ヶ丘学園管理者兼務) ・主任支援員 ・世話人11名 ・事務員3名(希望ヶ丘学園兼務) (3)防災関係 ○BCP策定について 策定済み。 ○避難訓練等について (R6.10 避難誘導訓練 実施)			

(4) 感染症等の状況と予防対策

- 感染予防対策としては日々の手洗いや消毒、外出時にマスクの着用の徹底を行った結果、グループホームふるーる内では感染することはありませんでした。

(5) 権利擁護について(虐待・事故報告等)

- 令和6年度 事故報告件数 転倒による裂傷事故1件
- 虐待防止委員会は毎年2回委員会を開催
- 虐待防止研修の実施(希望ヶ丘学園と合同)
 - ・令和7年1月 外部講師「障がい者虐待と権利侵害」について
- 虐待防止セルフチェックの活用(集計後、全体に周知)

(6) 職員研修実施状況 別紙にて報告

4. 整備事業

- エアコン設置工事
 - ・グループホームふるーる 居間・食堂
 - ・グループホームふるーる2号館 居間
 - ・グループホームふるーる3号館 居間
- 低圧LPガス発電機 1台購入

5. 施設見学

- グループホームふるーる ○ グループホームふるーる2号館 ○ グループホームふるーる3号館
 - ・どのグループホームにおいても、建物の古さはある割には、環境的に整理され生活されているとの意見があった。
 - ・スプリンクラーの設置状況から安全面での評価と、費用面について確認があった。

6. 意見

- 昨年12月の地震時の被害状況と津波注意報の対応状況について
 - ・グループホームでは地震による利用者、職員、ライフラインに被害はありませんでした。
 - ・函館市津波ハザードマップ上ではグループホーム1号館はその対象に入っており、先日12月の地震では、津波注意報が発令されたことから、グループホームふるーる1号館・2号館希望ヶ丘学園に避難し、津波注意報が解除された2:00過ぎに戻っています。